



## 2026年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月14日

上場会社名 テックファームホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3625 URL <https://www.techfirm-hd.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 永守 秀章  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 松本 圭太 TEL 03-5365-7885  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無：無  
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年6月期第1四半期の連結業績（2025年7月1日～2025年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期第1四半期	1,658	9.6	126	△13.5	132	△19.7	77	△25.6
2025年6月期第1四半期	1,512	28.4	146	752.1	165	422.6	103	637.1

(注) 包括利益 2026年6月期第1四半期 77百万円 (△8.8%) 2025年6月期第1四半期 84百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期第1四半期	10.87	—
2025年6月期第1四半期	14.62	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年6月期第1四半期	4,891	2,738	56.0
2025年6月期	4,963	2,718	54.8

(参考) 自己資本 2026年6月期第1四半期 2,738百万円 2025年6月期 2,718百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	—	0.00	—	8.00	8.00
2026年6月期	—	—	—	—	—
2026年6月期（予想）	—	0.00	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2026年6月期の連結業績予想（2025年7月1日～2026年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,200	7.4	600	△19.9	580	△23.8	330	△34.2	46.57

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社は、年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無  
新規 ー社 (社名)、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年6月期1Q	7,515,000株	2025年6月期	7,515,000株
② 期末自己株式数	2026年6月期1Q	428,913株	2025年6月期	428,913株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年6月期1Q	7,086,087株	2025年6月期1Q	7,086,087株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	6
(セグメント情報等の注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安の継続を背景にインバウンド需要が拡大し、企業業績も堅調に推移するなど、景気は総じて底堅く推移しました。一方で、ウクライナや中東における地政学的リスクの長期化や対米関税交渉の不透明感など海外情勢の影響に加え、国内における物価上昇など、不確実性の高い状況が続いております。

当社グループが属する情報サービス業界におきましては、様々な業種で老朽化した基幹システムの維持コストや不具合が増える「2025年の崖」に備えた刷新需要や、生成AI技術を活用した業務変革や新規ビジネス創出に向けたIT投資が一段と活発化しております。

当社グループは「最先端テクノロジーと創造力で、産業の変革をリードします。」をミッションとして掲げ、先端技術を基盤とした高付加価値ソリューションや業界特化型プラットフォームのサービス提案設計から開発、運用保守まで、ワンストップの支援体制を整え、顧客企業におけるDX推進の共創パートナーとして事業成長に取り組んでおります。

また、創業以来、独立系のソフトウェア会社として様々な業種で蓄積したICTの知見とノウハウを活用し、デジタル化による成長が見込まれる産業に向けて新たな価値を創出することでITを通じた社会貢献に努め、グループの事業基盤、収益力の強化を目指しております。

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は1,658,375千円（前年同四半期比9.6%増）、営業利益は126,757千円（前年同四半期比13.5%減）、経常利益は132,797千円（前年同四半期比19.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は77,049千円（前年同四半期比25.6%減）となりました。

セグメント別の経営成績は、以下のとおりであります。

#### (ICTソリューション事業)

ICTソリューション事業においては、注力してきた大型案件獲得方針の成果が継続し、プロジェクトの進捗管理体制も安定的に機能したことで計画通りに推移しました。また、持続的な成長軌道を維持するため、生産性・競争優位性向上を目的とした生成AIなどの研究開発や技術検証の実施に加え、エンジニアの給与水準見直しやプロジェクトマネジメント能力、専門スキル向上を目的とした体系的な教育投資を進めております。

先端技術を活用した開発は、生成AIの適用領域拡大を進める一方、XRや業務システムへの応用も進展しております。XR分野ではNTTコノキュー社・ディーエムエス社と共同でXRグラスを活用した物流倉庫の業務プロセス変革を目指し、ピッキング作業の最適化を支援しました。また、ジャックス社と生成AIを活用した申込フォームの改善に取り組み、顧客体験向上と業務効率化に寄与しております。今後もAI×XR、AI×EC、AI×ドローンなど、AIを軸とした先端領域の拡大を視野に、幅広い業種への導入を見据え、生産性向上と省人化に貢献してまいります。

上記により、当第1四半期連結累計期間のICTソリューション事業の売上高は1,558,647千円（前年同四半期比13.4%増）、セグメント利益は253,765千円（前年同四半期比10.0%減）となりました。

#### (クロスボーダー流通プラットフォーム事業)

クロスボーダー流通プラットフォーム事業においては、最新のITと流通技術を組み合わせ、アジアと日本をつなぐ越境流通プラットフォームを展開し、利用顧客数の増加と流通量拡大による安定した収益の確保と成長を目指しております。高付加価値の日本商品に対する需要が高いシンガポール市場を拠点に、輸出に向けた市場調査から販路開拓、マーケティングを支援し、顧客企業のビジネス「創出」から「定着」まで一貫したサポートに取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間は、安定的な流通量拡大を目指す体制を構築するため、従来の特定顧客との単発的な契約獲得に加え、地方公共団体や地域商社、金融機関等の影響力の大きいパートナーへの提案活動を強化し、新規顧客の効率的な獲得と商材ラインナップの拡充に注力しました。一方、既存顧客の契約期間終了が重なったことによる売上減の影響がありましたが、シンガポールで展開する自社ECサイトではオンライン・オフラインでのプロモーションを強化した結果、サイトへの誘導と販売訴求も進み、EC売上は伸長しております。引き続きオンライン・オフライン融合で、顧客企業商材の認知度向上と事業成長に貢献してまいります。

上記により、当第1四半期連結累計期間のクロスボーダー流通プラットフォーム事業の売上高は99,728千円（前年同四半期比27.6%減）、セグメント損失は12,865千円（前年同四半期はセグメント利益1,317千円）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ81,559千円減少し、4,400,567千円となりました。この主な要因は、受取手形、売掛金及び契約資産が254,836千円増加したものの、現金及び預金が350,614千円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ10,371千円増加し、487,152千円となりました。この主な要因は、投資その他の資産が8,694千円増加したことによるものであります。

繰延資産は、前連結会計年度末に比べ276千円減少し、4,062千円となりました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ71,465千円減少し、4,891,782千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ91,206千円減少し、1,626,030千円となりました。この主な要因は、その他流動負債が180,976千円増加したものの、未払法人税等が183,828千円、賞与引当金が81,427千円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ627千円減少し、526,823千円となりました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ91,834千円減少し、2,152,853千円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ20,368千円増加し、2,738,928千円となりました。この主な要因は、資本剰余金を配当原資とする配当金の支払により資本剰余金が56,688千円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が77,049千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年6月期の通期連結業績予想につきましては、現時点では2025年8月14日の「2025年6月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,553,330	2,202,715
受取手形、売掛金及び契約資産	1,437,192	1,692,028
有価証券	402,626	403,397
その他	187,426	201,117
貸倒引当金	△98,447	△98,691
流動資産合計	4,482,127	4,400,567
固定資産		
有形固定資産	40,897	43,246
無形固定資産	5,174	4,502
投資その他の資産		
その他	431,398	440,092
貸倒引当金	△689	△689
投資その他の資産合計	430,708	439,403
固定資産合計	476,781	487,152
繰延資産	4,339	4,062
資産合計	4,963,248	4,891,782
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	184,021	176,994
短期借入金	600,000	600,000
未払法人税等	243,711	59,883
賞与引当金	143,652	62,225
製品保証引当金	2,500	2,600
その他	543,351	724,327
流動負債合計	1,717,236	1,626,030
固定負債		
社債	500,000	500,000
資産除去債務	20,010	20,010
その他	7,440	6,813
固定負債合計	527,450	526,823
負債合計	2,244,687	2,152,853
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	1,492,197	1,435,509
利益剰余金	674,570	751,620
自己株式	△434,362	△434,362
株主資本合計	2,732,405	2,752,766
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,051	4,508
為替換算調整勘定	△15,896	△18,346
その他の包括利益累計額合計	△13,845	△13,837
純資産合計	2,718,560	2,738,928
負債純資産合計	4,963,248	4,891,782

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
売上高	1,512,709	1,658,375
売上原価	991,536	1,182,071
売上総利益	521,173	476,304
販売費及び一般管理費	374,566	349,546
営業利益	146,606	126,757
営業外収益		
受取利息	400	2,464
受取配当金	783	2,132
為替差益	20,277	4,286
その他	752	1,202
営業外収益合計	22,214	10,086
営業外費用		
支払利息	1,217	1,871
支払手数料	1,810	1,779
社債発行費償却	276	276
その他	63	117
営業外費用合計	3,368	4,046
経常利益	165,452	132,797
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1,172
特別利益合計	—	1,172
特別損失		
固定資産除却損	272	—
減損損失	5,163	—
特別損失合計	5,435	—
税金等調整前四半期純利益	160,017	133,969
法人税等	56,400	56,919
四半期純利益	103,616	77,049
親会社株主に帰属する四半期純利益	103,616	77,049

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益	103,616	77,049
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,092	2,456
為替換算調整勘定	△9,006	△2,449
その他の包括利益合計	△19,098	7
四半期包括利益	84,517	77,056
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	84,517	77,056
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ICTソリューション	クロスボーダー 流通プラットフォーム	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,374,903	137,805	1,512,709	—	1,512,709
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,374,903	137,805	1,512,709	—	1,512,709
セグメント利益	281,916	1,317	283,234	△136,628	146,606

(注) 1 セグメント利益の調整額△136,628千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用の主なものは、当社(持株会社)に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため記載を省略しております。



Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2025年7月1日 至 2025年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ICTソリューション	クロスボーダー 流通プラットフォーム	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,558,647	99,728	1,658,375	—	1,658,375
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,558,647	99,728	1,658,375	—	1,658,375
セグメント利益又は損失 (△)	253,765	△12,865	240,899	△114,142	126,757

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△114,142千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用の主なものは、当社（持株会社）に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る減価償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	2,982 千円	3,547 千円